

市の行政コスト計算書

◆問合せ◆

財政室

☎ 995-1801

行政コストとは、人的サービス、給付サービスなど資産形成につながらない資源を消費する行政サービスに掛かる費用のことです。また、通常の決算は、支出だけをまとめていますが、行政コスト計算書は建物などの施設の消耗を表す減価償却（約 31 億 1,000 万円）もコストとして計上しています。

普通会計の行政コスト計算書(損益計算書)

平成20年3月31日現在

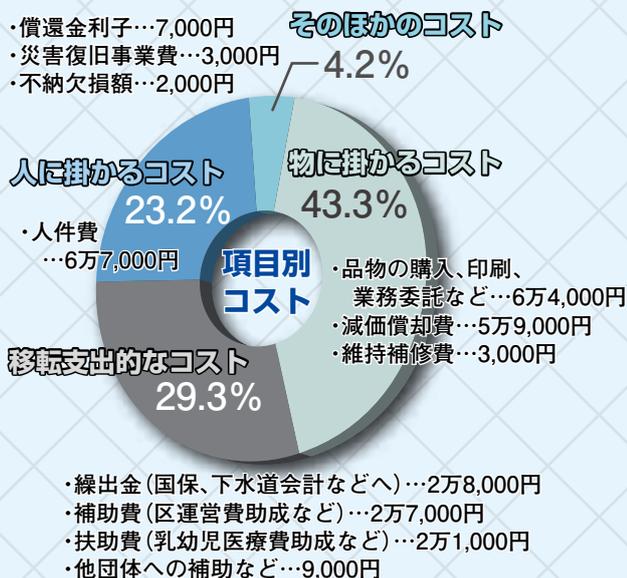
項目		平成18年度	平成19年度	増減額	平成19年度 市民1人当たり
費用	人に掛かるコスト	36億4,000万円	35億8,000万円	△6,000万円	6万7,000円
	物に掛かるコスト	65億4,000万円	66億8,000万円	1億4,000万円	12万6,000円
	移転支的的なコスト	48億7,000万円	45億2,000万円	△3億5,000万円	8万5,000円
	その他のコスト	4億9,000万円	6億4,000万円	1億5,000万円	1万2,000円
	合計(A)	155億4,000万円	154億2,000万円	△1億2,000万円	29万0,000円
収入	充当財源	26億5,000万円	29億2,000万円	2億7,000万円	
	一般財源	146億9,000万円	151億4,000万円	4億5,000万円	
	国・県支出金償却額	4億6,000万円	4億8,000万円	2,000万円	
	合計(B)	178億0,000万円	185億4,000万円	7億4,000万円	
差引一般財源増加額(B-A)		22億6,000万円	31億2,000万円	8億6,000万円	

(△はマイナス)

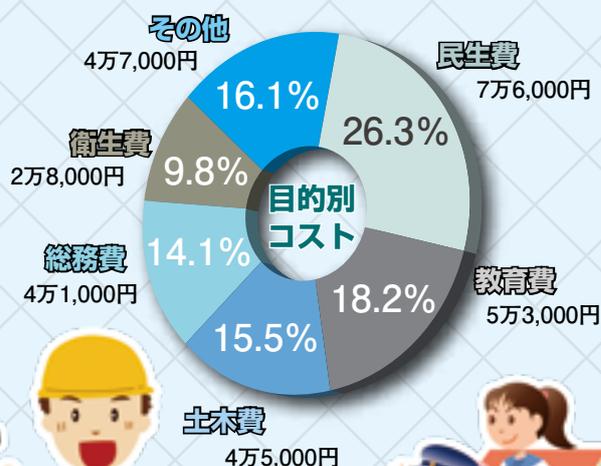
※行政コスト計算書は、国（総務省）が示した作成基準に沿って作成しました。

平成19年度 市民1人当たりの行政コスト 29万0,000円(前年度29万3,000円)

市民1人当たりの項目別コスト



市民1人当たりの目的別コスト



市の バランス シート

平成19年度 市民1人あたりの資産
225万5,000円(前年度219万4,000円)

平成19年度 市民1人あたりの負債
56万8,000円(前年度56万9,000円)

バランスシートとは、一般に民間企業の会計で使われているもので、土地、建物など現在まで整備された資産と借金などの負債の状況をまとめたものです。

市全体のバランスシート（貸借対照表）

平成20年3月31日現在

借方	
[資産の部]	
有形固定資産	学校、道路、橋、市庁舎など
学校、道路など建設的な事業に使われたお金の総額です。道路や建物の建設は減価償却をしています。土地は購入時の価格を計上しています。	
	(市民1人当たり)
普通会計	837億9,000万円
公営事業会計	185億9,000万円
合計	1,023億8,000万円
	157万3,000円
	34万9,000円
	192万2,000円
投資的経費	基金（固定的なもの）、出資金
関係団体への出資金や都市施設建設基金、社会福祉事業基金など、貯えているお金です。	
	(市民1人当たり)
普通会計	49億4,000万円
公営事業会計	19億9,000万円
合計	69億3,000万円
	9万3,000円
	3万7,000円
	13万0,000円
流動的資産	現金預金、基金（現金化が容易なもの）、未収金（税など）
現金や、必要とすきすぐに現金にできる基金と、滞納されている市税などの総額です。	
	(市民1人当たり)
普通会計	89億9,000万円
公営事業会計	17億9,000万円
合計	107億8,000万円
	16万9,000円
	3万4,000円
	20万3,000円
資産合計	
	(市民1人当たり)
普通会計	977億2,000万円
公営事業会計	223億7,000万円
総計	1,200億9,000万円
	183万5,000円
	42万0,000円
	225万5,000円

貸方	
[負債の部]	
負債	
借入金(市債)	
借入金は、今まで学校や道路などの建設に、市が銀行や国などから借金した残高です。	
	(市民1人当たり)
普通会計	166億2,000万円
公営事業会計	88億8,000万円
合計	255億0,000万円
	31万2,000円
	16万7,000円
	47万9,000円
退職給与引当金	
退職給与引当金は、市の職員が年度末に全員退職（その年度末に退職した者を除く）した場合の退職金です。将来発生するものとして負債に計上します。	
	(市民1人当たり)
普通会計	43億3,000万円
公営事業会計	3億9,000万円
合計	47億2,000万円
	8万2,000円
	7,000円
	8万9,000円
負債計	借入金(市債)と退職手当引当金の合計
	(市民1人当たり)
普通会計	209億5,000万円
公営事業会計	92億7,000万円
合計	302億2,000万円
	39万4,000円
	17万4,000円
	56万8,000円
正味資産	国、県の補助金、資産形成に使った一般財源
今まで学校や道路などを建設するために使ったお金のうち、国や県からの補助金と市の税金などの総額です。	
	(市民1人当たり)
普通会計	767億7,000万円
公営事業会計	131億0,000万円
合計	898億7,000万円
	144万1,000円
	24万6,000円
	168万7,000円

- ※このバランスシートは、国（総務省）が示した作成基準に沿って作成しました。
- ※普通会計は、一般会計と土地取得特別会計で構成され、市の基本的な行政を行う会計です。
- ※公営事業会計は、水道事業会計と下水道事業、国民健康保険、老人保健、介護保険、十里木高原簡易水道の特別会計です。

負債、正味資産合計	
	(市民1人当たり)
普通会計	977億2,000万円
公営事業会計	223億7,000万円
総計	1,200億9,000万円
	183万5,000円
	42万0,000円
	225万5,000円

資産とは？

バランスシートの項目にあるような施設の土地、建物や基金、現金などです。市民の皆さんにこれから提供する行政サービスの基になるものです。

- ◆土地付きマイホーム……
5,030万円（土地1,930万円、家3,100万円）
- ◆定期預金など……300万円
- ◆普通預金・現金など……540万円



- ◆マイホームローン……残高1,260万円

☆バランスシート（普通会計）を平均的な4人家族の会計に例えたものです。

負債とは？

資産にあるような施設の整備のために借りた借入金の返済金や市職員の退職給与引当金（現在の市職員が普通退職したと想定した場合の必要な退職金）です。今後返済が必要で、市民の皆さんが負担するものです。

☆分かりやすくするため、市民1人当たりの金額を8倍してあります。